

会社公表の2009年度 労働時間と休暇取得状況を見る

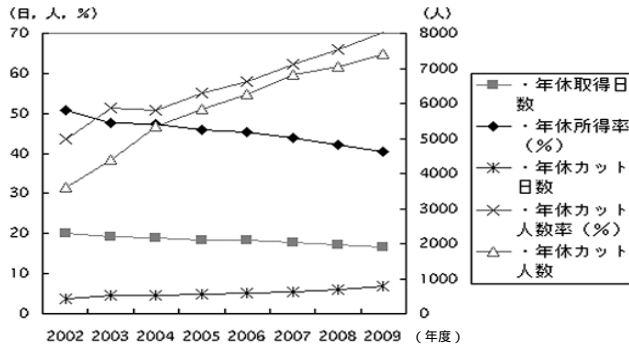
休暇取得率、年休カット年々悪化 専門職 7割以上の人年休カット

年間労働時間と休暇取得状況

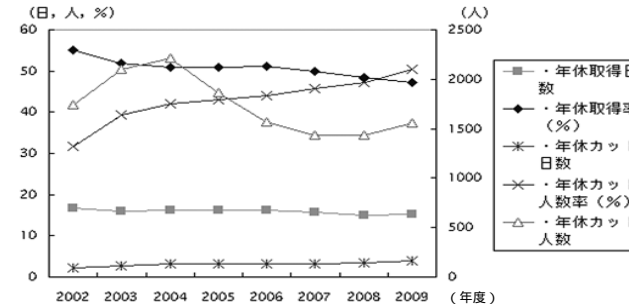
年度	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
1.労働時間								
・所定勤務時間	1854	1847	1854	1847	1885	1862	1847	1832
・年休取得時間	127	133	124	123	124	119	114	115
・欠勤時間	20	10	16	29	19	21	18	10
・所定内労働時間	1708	1704	1714	1695	1742	1722	1715	1707
・所定外労働時間	144	153	163	158	163	159	158	155
・総実労働時間	1852	1857	1877	1853	1905	1881	1873	1862
2.年次有給休暇								
(一般職)								
年度	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
・年休取得日数	16.7	16	16.2	16.2	16.3	15.7	15	15.2
・年休取得率(%)	55	52	50.9	51	51.2	50	48.4	47.3
・年休カット日数	2.1	2.8	3.1	3.1	3.2	3.2	3.4	3.9
・年休カット人数	1740	2103	2208	1862	1563	1436	1432	1554
・年休カット人数率(%)	31.7	39.4	42	43.1	44.1	45.7	47.1	50.4
(専門職)								
年度	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
・年休取得日数	20.1	19.1	19	18.5	18.5	17.7	17.1	16.7
・年休所得率(%)	50.9	47.7	47.3	45.8	45.4	44	42.1	40.4
・年休カット日数	3.6	4.5	4.5	4.9	5.1	5.4	6.1	6.9
・年休カット人数	3612	4387	5339	5823	6253	6823	7034	7418
・年休カット人数率(%)	43.6	51.3	50.7	55.1	58	62.2	66	70.2

注1.) 2004年より5000人対象に裁量勤務制導入
 注2.) '02-'04年は38時間制のデータ掲載('05年以降は38時間制に統一)
 注3.) 出向者は除く

年次有給休暇取得状況(専門職)('02-'09)



年次有給休暇取得状況(一般職)('02-'09)



会社が毎年のこの時期に公表している年間の「労働時間」について、2002年より、2009年度までを表「年間労働時間と休暇取得状況」にまとめてみました。

2009年度の所定外労働時間は月当たり12・9時間ですが、あくまでも残業代請求時間です。

2002年からの傾向を見ても着実に労働環境は悪化し、健康への影響が懸念されます。

組合の調査でも分かるようにサービス残業の増加で、休暇消化できない状況であることが伺えます。

は、心身のリフレッシュ、家族や友人とのふれあい、さらには自己啓発の機会となるなど、さまざまな意義があると考えています。

この「Hプロシエクト」のHは、このプロジェクトのトップのイニシャルです。

さて、あなたはこの状況で、何も手を打たずに会社に残る自信がありますか。

3月3日に大和事業所内の一室で、日本アイ・ビー・エム・サービスの社員(45歳)が自殺しました(発見は翌日3月4日朝9時)。

この事件で見えてきたのは、会社の隠蔽体質と、この事件で見えてきた

この「Hプロシエクト」のHは、このプロジェクトのトップのイニシャルです。

3年計画の大規模リストラ

水面下で「Hプロシエクト」という2010年から3年計画で5000人の人員削減をすすむというプロジェクトが進行中であると組合は推測しています。

肺癌の見落としと裁判 4月28日証人尋問

定期健康診断で胸部X線写真(2003年~2005年)に異常があったにもかかわらず、本社健康支援センター(旧本社)の2名の医師が「問題ないでしょう」「心配は要りません」と3年続けて精査を否定する誤診をしたため、高橋組合員の肺癌発見が3年遅れました。医師2名と会社は話し合いによる解決を最初から拒否したため、高橋組合員は東京地裁に医師2名の誤診と会社の使用者責任を問うて提訴してから2年が経ちます。この間、13回の口頭弁論が開かれました。今般、いよいよ本裁判のクライマックスの証人尋問が4月28日(水)、1日(10時~17時)かけて東京地裁610法廷で実施されます。

- 【尋問計画】
- ・原告 高橋組合員への主尋問、反対尋問
 - ・被告 本社健康支援センターA医師(兼産業医)への尋問
 - ・被告 本社健康支援センターB医師(兼産業医)への尋問
 - ・原告側から意見書を裁判所に提出した医師への尋問
 - ・被告A医師(兼産業医)側から意見書を裁判所に提出した医師への尋問

組合なんでも相談窓口担当者

事業所名	職場名	氏名	電話番号
豊洲	PSC.プロジェクト	兼松 牧夫	1801-7461
本社	I.G.A.S.センターサービス	明石 亘	1712-3435
本社	SO事業推進・SOオペレーションズ	杉野 憲作	1812-2938
本社	価格計画・価格管理	石原 隆行	1712-9867
幕張	経理 プロセス管理	橋本 雄二	1819-3039
幕張	SWLAB. 第一・Lotus・T・Supp	田中 純	1243-2439
名古屋	GBS第4AD 中部第2デリバリー	板倉 浩	1416-3264
大和	製造SO.フルフィルメント・センター経理	野上 久紀	1808-4452
大和	S.A.R.M. アクセス管理	吉野 薫	1808-6423
大阪	I.T.S. 西日本ソリューション・サービス	吉田 謙二	1505-3200
大阪	G.F.S. 西日本LCM&SPデリバリー	山本 茂秋	1505-5420
京都御池	システム開発・生産技術開発	古川 肇	1616-8523
[女性関連]	東日本総務S.V.C. 箱崎地区総務サービス	山本 初枝	1712-3097
●組合事務所電話 03-3583-9037 火、水、金10時~16時			
FAX 03-5562-0853			
e-mail jmiu-ibm@i.bekkoame.ne.jp, HP http://www.jmiu-ibm.org/			

注)上記窓口は、事業所にこだわらず、連絡のとれる電話番号へどうぞ

弁護士 水口 洋介 03-3355-0611(代)
<http://analyticalsociaboy.txt-nifty.com/yoakemaeka/>
 東京都新宿区四谷一丁目2番地 伊藤ビル6F
 労働問題以外の民事一般についても相談受け付けます。(お手数ですが電話により予約をお願いします)

自殺事件に見る 隠蔽無責任体質

無責任な隠蔽体質。この事件で見えてきたのは、会社の隠蔽体質と、この事件で見えてきた

この事件で見えてきたのは、会社の隠蔽体質と、この事件で見えてきた

この事件で見えてきたのは、会社の隠蔽体質と、この事件で見えてきた